

AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1993年7月1日発行 第5号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

さくら交流事業は今… ロンダ市に第1号の植樹

1993年3月29日長年の念願であった「日本の桜の苗木」をロンダ市（アンダルシア地方）に植樹しました。

当協会と財団法人横浜市海外交流協会の共催による「さくら植樹・スペイン友好親善訪問団」が3月26日から4月4日にかけてスペインを訪問。訪問団はファン・フライレ・カントン・ロンダ市長を表敬訪問、さくらの苗木200本を贈呈。公式の形でスペインに送った「日本のさくら」第1号です。ロンダ市長及び助役その他関係市民が多数参加して「さくらの記念植樹」を行ないました。市長も「大切に育てていく」と大喜び。今後日本とスペインの友好のシンボルとして、多くのスペイン市民に親しまれることでしょう。そして、桜が大きく成長するほど日西両国の絆が太く強くなり、市民相互の文化交流の発展を支えていくものと確信しております。

「さくらの記念植樹」の後、横浜の紹介とお茶と生け花の日本文化を紹介。お返しにロンダ市の文化紹介と同市の郷土料理が披露され、なごやかかつ盛大な市民交流を行ないました。この事業に御協賛頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

「さくら交流基金」は、1993年6月18日現在、340人（個人・団体）の方々の御協賛をいただき収入は2,731,563円。苗木の購入・運搬、スペインでの市民交流経費の一部、基金のPR・募集の諸経費1,372,350円を支出。現在高は1,359,213円です。これは次回の植樹経費の一部に充てることにしております。ここに謹んで御報告申し上げますとともに重ねて厚く御礼申し上げます。



ロンダ市よりの感謝状

（和訳）

ロンダ市役所

ロンダ市長、ファン・フライレ・カントンは、横浜・ロンダ友好親善団の訪問に際しとり行なわれた公式行事の席で、日本桜200本が当市役所において受け取られたことを、ここに証明する。

この寄贈を実現するためにご尽力頂いたことに、感謝の意を表します。

ロンダ、1993年3月29日
ファン・フライレ

次はセビリヤ市とコリア・デル・リオ市に！

3月31日に訪問団はアルハンドロ・ロハス・マルコス・セビリヤ市長を表敬訪問。桜の苗木を試験的な植樹用として10本贈呈し、「さくらの植樹計画」について懇談しました。セビリヤ市でも横浜や日本文化の紹介等市民相互の交流を行ない、大変有意義な一日でした。

4月1日に会長と副会長がカルメン・ディス・グラシア女史（セビリヤ市議会議員、環境委員会委員長、公園・植樹の責任者。市長が協議の相手方として指名した方）と「さくらの植樹計画」について協議しました。

今回、試験的に植樹用として贈呈した10本は、現在整備中の公園に植樹し育成状況を観察すること、2～3年の後に贈呈を予定している桜の苗木500～1000本の植樹場所については最適の



カルメン・ディス・グラシア女史
（セビリヤ市議会議員、環境委員会委員長）と

ロンダの子供の成長と共に 中村 映子

ロンダ、何と言う美しい響きを持った名前でしょう。ローマ時代の崖の要塞の町から見渡す周囲の景観は息を飲むようなパノラマです。

この街の中心に位置する公園こそ公式に初めてスペインに持ち込まれた桜の苗木を通して、皆様の善意と愛を伝える舞台としては最高にふさわしい場所でした。植樹式に苗木と同じような背の高さの5、6才の子供達が70名ばかり参加し、苗木と共に立派に成長を願う市側の粋な計らいと今回の植樹に対する期待の大きさを感じました。

この子供達のつづらな瞳に我々がどう映り、自分たちと共に成長した桜が満開になった時、今日の思い出がどんな形で残り、植樹と言う形で投げ



神奈川新聞に掲載された次回の植樹計画(5/23)

場所を選定する等受入れ態勢を確立することで合意しました。この後、前々から桜の苗木の寄贈を要請しているコリア・デル・リオ市（支倉常長の上陸地。ハボン姓の市民が多数住む市。セビリヤ近郊）を視察。一日も早い「さくらの植樹」の実現に思いを馳せました。

そして今、次回に向けて準備を開始しました。引き続き皆様の暖かい御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

た石が将来の交流にどう波紋を広げていくのであろうか等と思いを馳せました。

歌劇カルメンの、闘牛場でカルメンが殺されるクライマックスの舞台となったロンダの町に、さらに桜と言うロマンが加わったのです。



ロンダの子供達と共に



ファン・フライレ・カントン・ロンダ市長と共に記念植樹



ロンダの子供達も植樹に参加



訪問団の様子は神奈川新聞に掲載されました
(4/13-17, 20)



ヌエボの石橋

ロンダの街

井上 利雄

紀元前9世紀には既に街が存在していたと言われるロンダ
3千年の歴史の重みと香りがたよう緑豊かなロンダ
屹立する断崖の上の白い街ロンダ
グアダルビン川の深い谷に架るヌエボの石橋
大きい黄色の実をつけたオレンジの街路樹
スペイン最古の闘牛場のある街ロンダ
素朴で人の好さと暖かさを感じる人々
こんな素晴らしい街ロンダにわが協会が「桜」を植樹した
ことは、380年前に伊達藩の支倉常長が一行がスペインの
コリア・デル・リオの地に日本人として、最初に第一歩を踏
んだこととともに永く歴史に残る事業ではなかろうか。
やがてボトマックの桜のように満開の花を咲かせる日を心
待ちに再びロンダを訪ずりたい。

さくら交流基金にご協賛いただいた方々【前号の続き 1993年6月18日現在・敬称略・順不同】

交野 優奈 廣瀬 勝亮 廣瀬 孝子 大沢 仁
清沢 章子 清沢 幹子 河合 陽子 河合 武久
天野 光子 竹田 富美 五神 嘉子 高島 正子
船越 英一 佐藤 玉枝 若尾 節子 篠原真知子
畔柳 喜代 吉田マユミ 山上 尚子 高井 誠
上松 雅子 佐久間 正 田中恵美子 伊藤 民子
角井 正義 小島 謙一 佐藤 和子 太田裕美子
鍛冶 巴 根岸 清永 須藤 隆 橋本 俊子
小堀ミチ子 小宮 英子 神崎 君子 河野 昭子
名取 静江 茂内 哲子 生方 千子 山田 麗
須田 淑江 田野 慶子 紀村まち子 小島 素子
横松 四郎 横松 和子 横松 直樹 横松 昌樹
田中 キヨ 横松 明子 小泉 孝子 於保 正博
於保 洲子 福岡 伸子 福岡喜代子 金井 ちよ
寺田 道男 鋤柄 繁夫 石井 恵子 下山 利明
下山 綾子 下山 恵里 下山 芽里 下山由起子
下山 明彦 下山日美子 下山 雄司 下山 宜之
香村美保子 北見多規枝 北見 茂 北見 久子
中島 一雄 河野由利子 長坂 誠一 志摩加津人
志摩 智子 相良クニ子 椎橋 佳子 小松原三郎
榎 桜井 船津 治子 小菅 静 小菅 幸子
角田 定子 榎本 輝子 吉間 道哉 松波寿美子

豊田 哲司 来海 桂子 和田 隆也 吉岡 淳一
栗原 義郎 志賀 潔 森田 たま 小柴 茂雄
水谷 幸男 神田 神也 三島 啓嗣 馬場 宏二
吉田 佳晴 長沢 功 花本 淑子 清野 裕
谷 正喜 落山 弘子 高橋 巖夫
佐々木福慧子 山口ジュン子 横浜港南台商店会
働エストゥディオコジマ KDDマドリッド事務所
太陽海外航空働



定時総会の御案内

1993年の定時総会を次のように開催いたします。ぜひご参加ください。

◎日時：1993年7月17日（土）

午後2時30分

◎場所：産業貿易センタービル9F

「神奈川県国際交流センター研修室A」

（横浜市中区山下町2番地）

※同封のハガキにて7月14日までに出欠のご連絡をお願いします。

会費納入のお願い

1993年度の年会費を、同封の払込用紙により納入くださいますようお願い申し上げます。

（本年の4月以降に入会された方を除く）

◎正会員：3,000円

◎賛助会員：10,000円

◎納入期限：1993年7月末日

編集後記

「ついに念願が実現した」、誰もがこんな気持ちで一杯ではないでしょうか。10年前から温めていた思いと、会員そして募金に協力してくださった方々の情熱が実を結びました。何か

スペインがとても身近になったように思われます。会報では取り急ぎ植樹の様子をご報告しましたが、これからはロングの桜の様子をお伝えしていくことが使命です。訪問のされた方は、ぜひご報告をお待ちしております。

◆事務局：〒231 横浜市中区桜木町1-1

*****「さくら植樹事業」の歩み（要旨）*****

1984年4月

「横浜市港南区ひまわり親善国際交流協会」（下山会長は港南区長として深いかかわりを持った）は、セビリヤ市トリアナ区との文化交流を進めるため、代表団がセビリヤ市長及びトリアナ区長を表敬訪問する。その際、春田画伯（ロンダ市在住）と「スペインに日本の桜を植樹しよう」との構想を描いたが、スペインにおける植物検疫問題等の受入れ態勢が難しいことなど諸般の事情により日の目を見なかった。

1989年12月

春田画伯が来日した際、ロンダ市長からの「日本の桜の植樹要請書」を持参。これを契機に「桜の植樹事業」の構想が再び浮上する。

1990年3月

下山会長は桜の植樹計画の推進方法等について「日西友好議員連盟」（超党派の国会議員で構成）の会長と情報交換を行なう。

1990年6月

「ライオンズクラブ国際協会330複合地区ガバナー協議会」から「ロンダ市への桜植樹基金」100万円が「日本マドリード会」（東京。留学、在勤、在住等スペインと深いかかわりをもつ会員で構成。下山会長は理事）に贈呈され、下山会長及び春田画伯の立ち会いのもと、事業実施まで同会で保管。（ロンダ市への記念灯籠や桜の種の贈呈経費を差引いた残金が1993年7月当協会に引き継がれた）

1990年7月7日

「スペインへの桜の植樹」を主要な事業として「横浜スペイン交流協会」を設立する。

1990年8月～1991年1月

「桜の植樹計画」を推進するため、駐日スペイン大使館その他関係諸機関と情報交換や協議を続ける。

1991年2月

セビリヤ万国博覧会（1992年開催）の担当局長から、アントニオ・デ・オヤルサル駐旨の要請を受ける。

1991年3月

「桜の植樹事業」の促進について、駐日スペイン大使と協議する。大使は全面的な支援を表明する。

1991年4月～10月

スペインにおける植物の検疫、特に桜の検疫について調査研究を行なうとともに、（財）日本花の会その他関係機関と折衝を続ける。

1991年11月

駐日スペイン大使と協議する。

1991年12月

（財）日本花の会に桜の苗木の育成を正式に依頼する。

1992年3月

横浜植物防疫所に対し正式に協力要請を行う。

1992年4月

スペインにおける「日本の桜」の苗木の受け入れの可能性について横浜植物防疫所及び（財）日本花の会と協議・検討した結果、可能性ありとの見通しが立つ。

1992年5月

「さくら交流基金」の募集の準備に入る。

1992年7月

「さくら交流基金」の募集を開始する。

1992年8月

サンタ・マリア号（復元船）の横浜寄港に伴うイベントに「スペイン情報コーナー」を設置して参加、「さくら交流基金」のPRを実施する。

1992年9月～11月

駐日スペイン大使、横浜植物防疫所、（財）日本花の会、外務省と協議。1993年3月に「桜の植樹」が可能との確信を得る。

1992年12月

（財）横浜市海外交流協会と共催で「さくら植樹・スペイン友好親善訪問旅行（横浜の紹介・日本の伝統文化紹介等の市民交流）」の実施計画を企画・立案する。

1992年12月

来日中のセビリヤ市長と面談。同市長は「日本の桜の植樹を歓迎する」旨の意向を表明する。

1992年12月～1993年1月

「桜の植樹」及び「スペイン友好親善訪問団」の日程、現地における受け入れ態勢及び関連行事等について、春田画伯、ロンダ市及びセビリヤ市と協議を続ける。

1993年1月

「さくら植樹・スペイン友好親善訪問旅行」の案内を開始する。

1993年1月～3月

「桜の植樹」及び「スペイン友好親善訪問団」の行事日程及び行事内容等の細目について、春田画伯、ロンダ市及びセビリヤ市と、詰めの協議を続ける。

1993年3月26日～4月4日

「さくら植樹・スペイン友好親善訪問旅行」を実施する。

3月29日

ファン・フライレ・カントン ロンダ市長を表敬訪問、桜の苗木200本を贈呈。市長及び助役その他関係市民多数が参加して「桜の記念植樹」を実施するとともに、横浜の紹介及び日本の伝統文化の紹介を実施。昼に、ロンダ市長主催の歓迎パーティ及びロンダ市の伝統文化を紹介。夜は、横浜スペイン交流協会および（財）横浜市海外交流協会共催のパーティ及び横浜の紹介と日本の伝統文化の紹介。

3月31日

アルハンドロ・ロハス・マルコス セビリヤ市長を表敬訪問。「桜の植樹計画」について懇談。桜の苗木10本を実験的植樹用として贈呈。夜は、訪問団員とセビリヤ市民との交流パーティ及び横浜の紹介と日本の伝統文化の紹介。永川玲二先生（セビリヤ市在住。元セビリヤ大学の日本語講師）とセビリヤ市並びにコリア・デル・リオ市（支倉常長の上陸地。ハボン姓の市民が多い地域）における「桜の植樹」計画について懇談。

4月1日

カルメン・ディス・グラシア女史（セビリヤ市会議員、環境委員会委員長。公園・植樹等の責任者。市長が協議の相手方として指名した方）と面談、「桜の植樹計画」について協議。今回実験的植樹用として贈呈した桜の苗木10本は、現在整備中の中規模の公園に植樹し育成状況を観察すること。2～3年後に贈呈を予定している桜の苗木500～1000本の植樹場所については最適の場所を選定する旨合意。

コリア・デル・リオ市（前々から「桜の苗木」の寄贈を要請している）を視察。

1993年5月

駐日スペイン大使に「ロンダ市における桜の植樹並びに市民相互の文化交流」について報告。セビリヤ市及びコリア・デル・リオ市における「桜の植樹」を可能な限り早期に実施してほしい旨要請を受ける。

